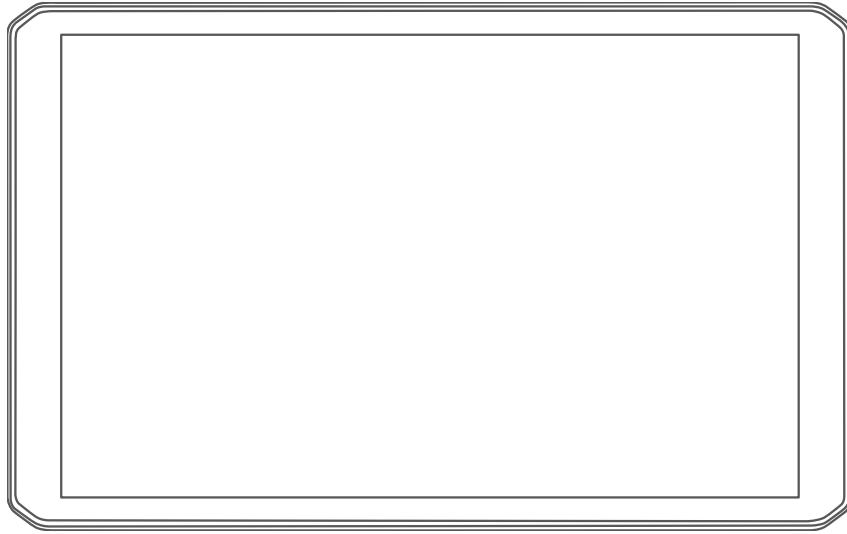


GARMIN[®]



**RV 895 / RV 1095
CAMPER 895 / CAMPER 1095**

操作マニュアル

© 2022 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、Garmin Drive™、Garmin Express™、Garmin PowerSwitch™、および myTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD™および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Pilot Flying J™と Pilot Flying J Travel Centers™は、Pilot Travel Centers LLC およびその関連会社の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Ultimate Campgrounds™は、The Ultimate Public Campground Project の商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®は Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

目次

はじめに	1
デバイスの概要	1
車両へのデバイスの取り付けと電源の供給	2
ダッシュボードへのネジ留め式マウントの取り付け	4
ボールマウントアダプターの取り付け	5
デバイスの電源をオンまたはオフにする	6
GPS 信号を捕捉する	6
メイン画面	7
アプリの起動	7
ショートカットをホーム画面に追加する	8
通知の表示	8
ステータスバーアイコン	8
タッチスクリーンを使用する	8
画面の輝度を調整する	8
車両プロファイル	9
車両プロファイルを追加する	9
乗用車プロファイル	9
車両プロファイルの切り替え	9
プロパンタンクを追加する	10
車両プロファイルを編集する	10
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	10
ドライバーアラートを有効または無効にする	11
赤信号カメラとスピードカメラ	11
目的地へのナビゲーション	11
ルート	11
ルートプランナー	11
アクティブルートを編集および保存する	11
ナビゲーションを開始する	12
ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する	12
地図を使用してナビゲーションを開始する	12
帰宅する	12
地図上のルート	13
アクティブ車線案内	14
方向転換と方向指示を表示する	14
地図にルート全体を表示する	14
目的地に到着する	14
アクティブルートを変更する	15
ルートに場所を追加する	15
ルートを形成する	15
迂回路を検索する	15
ルート探索方法を変更する	15
ナビゲーションを停止する	16
推奨ルートを利用する	16
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	16
ルート上の交通遅延を回避する	16
有料道路を回避する	16
有料ステッカーを回避する	16
道路の回避機能	16
環境ゾーンを回避する	17
カスタム回避	17
位置の検索と保存を行う	18
キャンプ場の検索	18
施設のあるキャンプ場を検索する	18
RV サービスを検索する	18
検索バーを使用して位置を検索する	19
人気スポット	19
人気スポット検索を実行する	19
住所を検索する	19
カテゴリーを入力して位置を検索する	19
カテゴリー内を検索する	20
場所検索の結果	20
検索エリアを変更する	21
カスタム POI (ジャンル別施設)	21
POI Loader をインストールする	21
カスタム POI を検索する	21
検索ツール	21
交差点を検索する	21
座標を使用して位置を検索する	22
Foursquare	22
Foursquare のジャンル別施設を検索する	22
Foursquare の場所の詳細を表示する	22
Tripadvisor	22
Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する	22

最近検索した位置を表示する	23	デバイスをペアリングした後のヒント	30
最近検索した場所のリストを消去する	23	Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する	31
現在地情報を表示する	23	スマート通知	31
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	23	通知を受信する	31
現在地への道順を表示する	23	ハンズフリー通話	31
ショートカットを追加する	23	電話をかける	32
ショートカットを削除する	23	電話を受ける	32
位置を保存する	24	通話中オプションを使用する	32
位置を保存する	24	電話番号をプリセットとして保存する	32
現在地を保存する	24	Bluetooth 機能を有効または無効にする	32
保存した位置を編集する	24	アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)	32
保存した位置にカテゴリーを割り当てる	24	Apple® デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする	33
保存した位置を削除する	24	Bluetooth デバイスの取り外し	33
地図を使用する	25	ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	33
地図ツール	25		
地図ツールを表示する	25		
この先	26	[ト ラ フ ィ ッ ク]	33
この先の場所を表示する	26	スマートフォンを使用してト ラ フ ィ ッ ク データを受信する	33
[この先] カテゴリーをカスタマイズする	26	地図上に交通渋滞情報を表示する	33
到着を計画する	26	交通事故情報を検索する	34
次の都市まで	26		
この先の都市や出入口サービスの表示	26	音声コマンド	34
警告およびアラート記号	27	デバイスに話しかける際のヒント	34
制約に関する警告	27	Garmin 音声案内ナビゲーションの起動	34
道路状況に関する警告	28	到着時刻の確認	34
アラート	28	音声を使用して電話をかける	34
トリップ情報	28	音声を使用してデバイス設定を変更	34
地図からトリップデータを表示する	28		
トリップ情報をリセットする	29	アプリケーションを使用する	35
進行方向の交通事故を表示する	29	デバイスのマニュアルの表示	35
地図上に交通渋滞情報を表示する	29	ルートプランナー	35
交通事故情報を検索する	29	ルートを計画する	35
地図をカスタマイズする	29	ルートの場所を編集および並べ替える	35
地図レイヤーをカスタマイズする	29	ルートのルートオプションを変更する	35
地図データフィールドを変更する	29	保存したルートまでナビゲーションする	36
地図表示方法を変更する	30	アクティブルートを編集および保存する	36
ライブサービス、ト ラ フ ィ ッ ク 、およ びスマートフォン機能	30		
スマートフォンとペアリングする	30		

ロイヤルティプログラム	36	Garmin Express による地図とソフトウェアの更新	46
サービス履歴をログに記録する	36	Garmin Express をインストールする	47
サービスカテゴリーを追加する	36	デバイスのお手入れ	47
サービスカテゴリーを削除する	36	外側ケースのクリーニング	47
サービスカテゴリーの名前を変更する	37	タッチスクリーンのクリーニング	47
サービスの記録を編集する	37	盗難防止	47
サービスの記録を削除する	37	デバイスを再起動する	48
天気予報を表示する	37	デバイス、マウント、吸着力アップを取り外す	48
別の都市周辺の天気を表示する	37	吸盤からマウントを取り外す	48
Garmin PowerSwitch™ アプリ	38	フロントガラスから吸着力アップを取り外す	48
電源スイッチの有効化	38		
すべてのスイッチをオフにする	38		
ボタンのカスタマイズ	39		
スイッチを制御入力へ割り当てる	39		
カスタムレイアウトの追加	39		
設定	41	トラブルシューティング	48
ナビゲーション設定	41	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	48
地図および車両設定	41	運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない	48
地図を有効にする	41	デバイスで衛星信号を受信できない	48
ワイヤレスネットワークに接続する	41	デバイスを車両で充電できない	48
Bluetooth 無線技術を有効にする	41	充電しても電池の電力が長持ちしない	49
運転者支援の設定	42	デバイスがスマートフォンに接続されません	49
トラフィック設定	42		
ディスプレイ設定	42		
サウンドと通知の設定	42		
サウンドと通知の音量を調整する	43		
アラームを設定する	43		
位置情報サービスを有効または無効にする	43		
テキスト言語を設定する	43		
日付と時刻の設定	43		
デバイス設定	43		
設定を初期化する	43		
デバイス情報	43	付録	49
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	43	Garmin PowerSwitch	49
仕様	44	取り付けに関する注意事項	49
デバイスを充電する	44	デバイスの取り付け	50
デバイスのメンテナンス	44	前面カバーを開く	51
Garmin サポートセンター	44	アクセサリーの接続	52
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	45	制御入力の接続	52

データ管理	57
メモリーカードについて	57
メモリーカードのフォーマット	57
デバイスをコンピュータに接続する	58
コンピュータからデータを転送する	58
コンピュータから GPX ファイルを転送する	58
Garmin Drive アプリで GPX ファイルをエクスポートする	58
Garmin Drive アプリを使用した GPX ファイルのインポート	59
メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート	59
メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート	59
追加の地図を購入する	59
アクセサリーを購入する	59

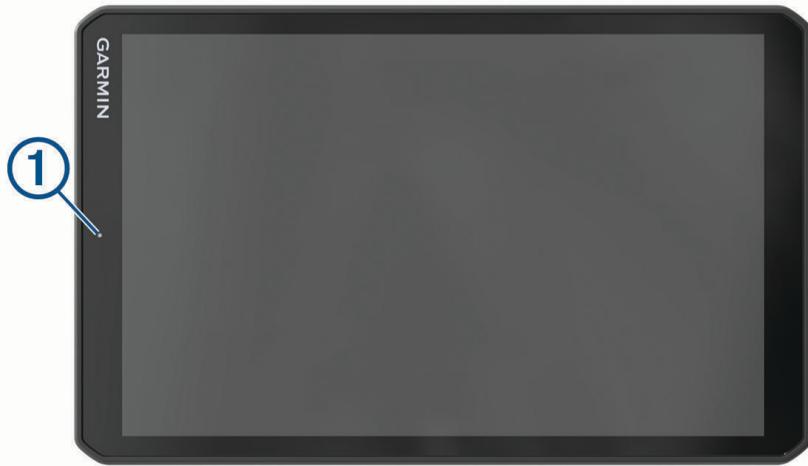
はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 45 ページ)。
- デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ)。
- 音量を調整し (サウンドと通知の音量を調整する, 43 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 8 ページ)。
- 車両プロファイルを設定します (車両プロファイルを追加する, 9 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 12 ページ)。

デバイスの概要



①	ハンズフリー通話および音声コマンド用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	USB 電源およびデータポート
⑤	地図およびデータメモリカードスロット
⑥	14ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑦	スピーカー

車両へのデバイスの取り付けと電源の供給

△ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下では、磁石が一部の体内医療機器や電子機器（ペースメーカー、インシュリンポンプ、ノートパソコンのハードドライブなど）と干渉する可能性があります。デバイスを医療機器や電子機器に近づけないでください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- レバー①を開き、吸盤をフロントガラスに押し付けてレバーをフロントガラスの方向に戻します。
レバーはフロントガラスの上部に向いている必要があります。



- 車両電源ケーブル②をマウントのポートに接続します。

- 3 必要に応じて、吸着カップアームのつまみネジ ③ とボールマウントのナット ④ を緩め、見やすく操作しやすいようにマウントを調整します。



- 4 吸着カップアームのつまみネジとボールマウントのナットを締めます。

- 5 デバイスを磁気マウントに載せます。



- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

ダッシュボードへのネジ留め式マウントの取り付け

ネジ留め式ボールマウントをダッシュボードに取り付ける前に、ダッシュボード上の適切な位置を選択する必要があります。

⚠️ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

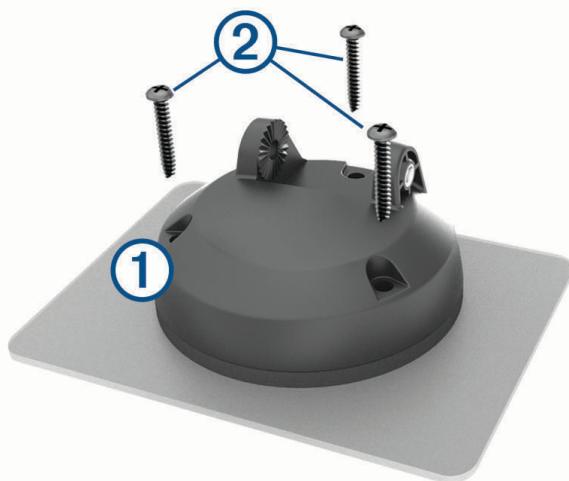
注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garmin®は、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

注記

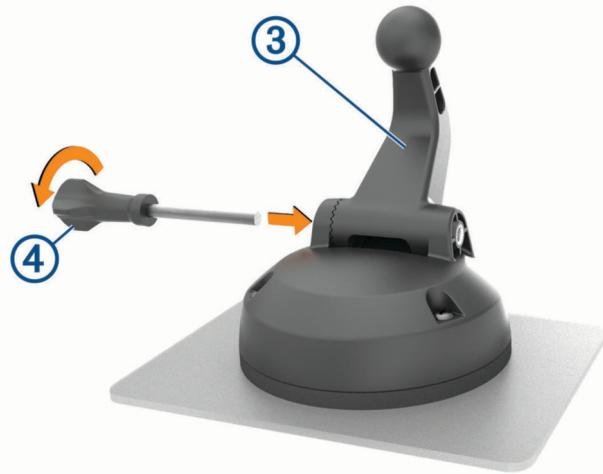
車両の損傷を防ぐため、Garminは、専門の設置会社によるネジ留め式ボールマウントの取り付けを推奨しています。

- 選択した場所にマウント①を配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、3箇所のネジ位置に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。
- 付属のネジ②を使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

5 ポールマウントアーム③をマウントに挿入します。

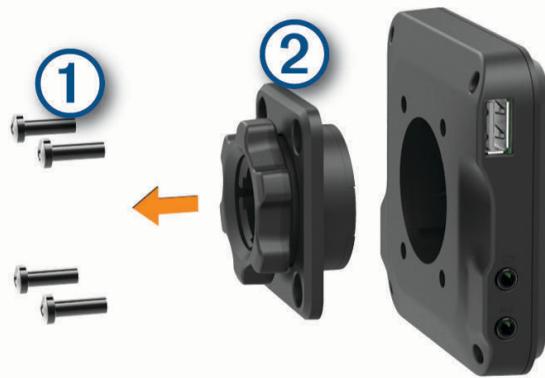


6 蝶ネジ④をマウントに挿入し、締め付けてボールマウントアームを固定します。

ボールマウントアダプターの取り付け

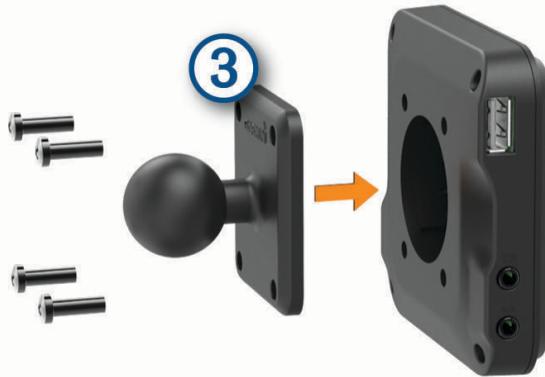
お使いのデバイスには、サードパーティ製マウントソリューションと互換性のある 1 インチボールマウントが付属しています。

1 マウントソケット②を磁気マウントに固定している 4 本のネジ①を外します。



2 マウントソケットを取り外します。

3 手順 1 で取り外したネジを使用して、1 インチボールマウント③を磁気マウントに固定します。



デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、電源オフを選択します。

GPS信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからのくらい経っているなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- ステータスバーの📍表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします ([位置情報サービスを有効または無効にする, 43 ページ](#))。
- 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。

デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には GPS 捕捉中が表示されます。

メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



- ① 下にスワイプすると、通知が表示されます。
下に 2 回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。
- ② 選択すると、ルートを開始します。
- ③ 選択すると、地図を表示できます。
- ④ 選択すると、車両プロファイルを変更できます。
- ⑤ 選択すると、スマート通知が表示されます。Garmin Drive™ アプリが必要です。
- ⑥ 選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。
- ⑦ 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。

アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2 つのタブに分類されて表示されます。ナビゲーションタブには、ナビゲーション、配送、サービス時間の記録に役立つ Garmin アプリが表示されます。ツールタブには、通信やその他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ・ ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- ・ ■■を選択し、タブ、アプリの順に選択します。

ショートカットをホーム画面に追加する

- 1 を選択します。
- 2 アプリタブを選択すると、その他のアプリが表示されます。
- 3 アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

通知の表示

⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

- 1 画面上部から下にスワイプします。
通知のリストが表示されます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
 - ・ 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています (位置情報サービスを有効または無効にする, 43 ページ)。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 41 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル, 9 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル

タッチスクリーンを使用する

- ・ 画面をタップしてアイテムを選択します。
- ・ 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- ・ 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- ・ 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

画面の輝度を調整する

ユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整できます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を開きます。
 - ・ 設定 > デバイス > ディスプレイ > 輝度レベルの順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロファイル

△ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロファイルを追加する

お使いのデバイスで使用する各キャンパーの車両プロフィールを追加してください。

1 ホーム画面から車両プロフィールを選択します。

2 車両タイプを選択します：

- ・ キャンパーに完全に接続してモーターホームを追加するには、モーターホームを選択します。
- ・ トレーラーを牽引するモーターホームを追加するには、トレーラー付きモーターホームを選択します。
- ・ 乗用車の後ろに牽引するキャンパーを追加するには、トレーラー付き車両を選択します。

3 必要に応じて、トレーラータイプを選択します：

- ・ 標準連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、トラベルトレーラーを選択します。
- ・ フィフスホイール連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、フィフスホイールトレーラーを選択します。
注：このトレーラータイプは利用できない地域もあります。
- ・ 標準連結装置で牽引するボートトレーラーを追加するには、ポートトレーラーを選択します。
- ・ 標準連結装置で牽引するトレーラーを追加するには、トレーラーを選択します。

4 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロフィールを追加した後で、プロフィールを編集して、追加の詳細情報を入力できます ([車両プロファイルを編集する](#), 10 ページ)。

乗用車プロファイル

乗用車プロフィールは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロフィールです。乗用車プロフィールを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定は使用できません。乗用車プロフィールを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

車両プロファイルの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロファイルの選択を求められます。別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

1 次の中からオプションを選択します。

- ・ 画面上部から下に 2 回スワイプして、 や などの車両プロフィールアイコンを選択します。
- ・ メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します ([メイン画面](#), 7 ページ)。

2 車両プロファイルを選択します。

測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。

3 選択を選択します。

プロパンタンクを追加する

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

車両プロファイルにプロパンタンクを追加すると、デバイスは、ルートに影響する可能性があるプロパンタンクの制限のある区域の通過を回避します。また、デバイスは、プロパンタンクを遮断する必要のある区域に近づいたときにも警告を出します。

1 車両プロフィールから、 > タンクを追加を選択します。

2 プロパンタンクの重量を入力し、保存を選択します。

車両プロファイルを編集する

基本的な車両プロファイル情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロファイルに追加できます。

1 > ナビゲーション > 車両プロファイルの順に選択します。

2 編集する車両プロファイルを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・車両プロフィール情報を編集するには、 を選択し、編集するフィールドを選択します。
- ・車両プロフィールの名前を変更するには、 > > プロファイル名の変更 の順に選択します。
- ・車両プロフィールを削除するには、 > > 削除 の順に選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度(ある場合)を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度低下: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

踏切: デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります([\[トラフィック\]](#), 33ページ)。

工事ゾーン: 工事ゾーンに接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

車線閉鎖: 車線閉鎖に接近すると、デバイスが通知音を再生してメッセージを表示します。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

プロパンをオフにする: プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

- 1 設定 > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注 : この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から 1 つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 15 ページ) や回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 16 ページ) などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます (ナビゲーションを開始する, 12 ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます (ルートを形成する, 15 ページ)。
- ルートには複数の目的地を追加できます (ルートに場所を追加する, 15 ページ)。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1  > ルートプランナー > マイアカウントの順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 保存を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます (オプション)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します(位置の検索と保存を行う, 18 ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、**出発!**を選択します。
 - ・ ルートの経路を編集するには、 を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します(ルートを形成する, 15 ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 13 ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 15 ページ)。

ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する

ご使用のデバイスで、カーブやヒルが多い道を含み、幹線道路が少ないルートを計算できます。この機能によりドライブを楽しめますが、目的地までの時間や距離が長くなる可能性があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4  を選択します。
- 5 スライダーを使用して、ルートの距離を増減させます。
- 6 必要に応じて  を選択して、ルートにシェイピングポイントを追加します。
- 7 出発!を選択します。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 街名、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 4 出発!を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

- 1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録を選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

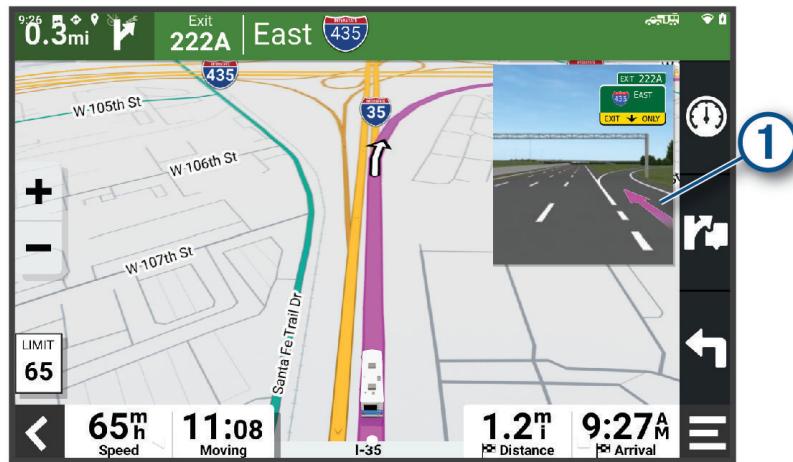
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① 次のアクションまでの距離。
- ② ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
- ③ 次のアクションに関連する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 地図ツールのショートカット。
- ⑦ 地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
- ⑧ データフィールド。
ヒント：これらのフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます（[地図データフィールドを変更する](#)、29 ページ）。
- ⑨ 車速。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や方向指示を表示するには、 > 方向転換を選択します。地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します(オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります ([ナビゲーションを開始する, 12 ページ](#))。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます ([ルートプランナー, 11 ページ](#))。

- 1 地図で  **目的地検索** を選択します。
- 2 位置を検索します ([位置の検索と保存を行う, 18 ページ](#))。
- 3 位置を選択します。
- 4 **出発！** を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。
 - ・ ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。
 - ・ 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります ([ナビゲーションを開始する, 12 ページ](#))。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ルートを形成を選択します。
ヒント：  を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。
- 3 **出発！** を選択します。
- 4 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ・ ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - ・ シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**削除**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で、 **ルートの編集**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 **設定 > ナビゲーション > 計算モード** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **ターンバイターン**を選択すると、一番早く目的地に到達できる道でルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ **直行**を選択すると、オフロード、ポイント間のルートを直線で計算します。

ナビゲーションを停止する

- 地図で、 > 停止を選択します。
- ホーム画面で、停止を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定, 43 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 33 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。[[トラフィック設定](#)] でこのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 42 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- ナビゲーションの実行中に、 > トラフィックを選択します。
- 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 出発!を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

- 設定 > ナビゲーション > 回避 > [有料道路](#) の順に選択します。
- 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 設定 > ナビゲーション > [料金ステッカー](#) の順に選択します。
- 国を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。
 - 有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。

道路の回避機能

- 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。
- ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロフィールにある車両タイプに適用されます（[車両プロファイル](#)、9 ページ）。

1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ 環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。
- ・ 環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避道路の追加を選択します。

4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。

5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。

6 完了を選択します。

エリアを回避する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避エリアの追加を選択します。

4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。

5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。

選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。

6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 回避を選択します。

3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
- ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- ・ デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、**Q 検索**を選択します ([検索バーを使用して位置を検索する, 19 ページ](#))。
- ・ 住所を検索するには、**住所**を選択します ([住所を検索する, 19 ページ](#))。
- ・ カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、**カテゴリー**を選択します ([カテゴリーを入力して位置を検索する, 19 ページ](#))。
- ・ 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある**📍**を選択します ([検索エリアを変更する, 21 ページ](#))。
- ・ 保存済み位置情報を表示および編集するには、**保存済み**を選択します ([位置を保存する, 24 ページ](#))。
- ・ 検索結果から最近選択した場所を表示するには、**最近表示した項目** ([最近検索した位置を表示する, 23 ページ](#))を選択します。
- ・ RV 駐車場やキャンプ場を検索するには、**全てのキャンプ場** ([キャンプ場の検索, 18 ページ](#))を選択します。
- ・ Foursquare®のジャンル別施設を参照および検索するには、**Foursquare** ([Foursquare のジャンル別施設を検索する, 22 ページ](#))。
- ・ Tripadvisor®トラベラー評価を参照および検索するには、**Tripadvisor** を選択します ([Tripadvisor, 22 ページ](#))。
- ・ 特定の地理座標に移動するには、**座標**を選択します ([座標を使用して位置を検索する, 22 ページ](#))。

キャンプ場の検索

注記

ユーザーはキャンプ場に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

目的地検索 > 全てのキャンプ場を選択します。

施設のあるキャンプ場を検索する

利用可能な施設に応じて RV 駐車場やキャンプ場を検索できます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 RV パークとキャンプ場の検索プロバイダー (ACSI、Campercontact、KOA など) を選択します。
- 3 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 4 施設別にフィルタリングを選択し、1 つ以上の施設を選択して**保存**を選択します。
- 5 位置を選択します。

RV サービスを検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

目的地検索 > PlanRV Services の順に選択します。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、**Q**を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

人気スポット

注記

Garmin は Tripadvisor または Michelin®情報の正確性または適時性について責任を負いません。ユーザーはジャンル別施設に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

人気スポット検索機能では、Tripadvisor および Michelin の主要ポイントと評価の両方が対象とされ、一般施設の包括的なリストが表示されます。検索結果は、カテゴリー、評価、ルートからの距離でフィルタリングできます。

注：Tripadvisor および Michelin ジャンル別施設は利用できない地域もあります。

人気スポット検索を実行する

- 1 人気スポットを選択します。
- 2 表示された関心スポットをカテゴリーまたは評価でフィルタリングするには、施設別にフィルタリングを選択します（オプション）。
- 3 **Q**を選択し、検索項目を入力します（オプション）。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、**📍**を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または **カテゴリー**を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

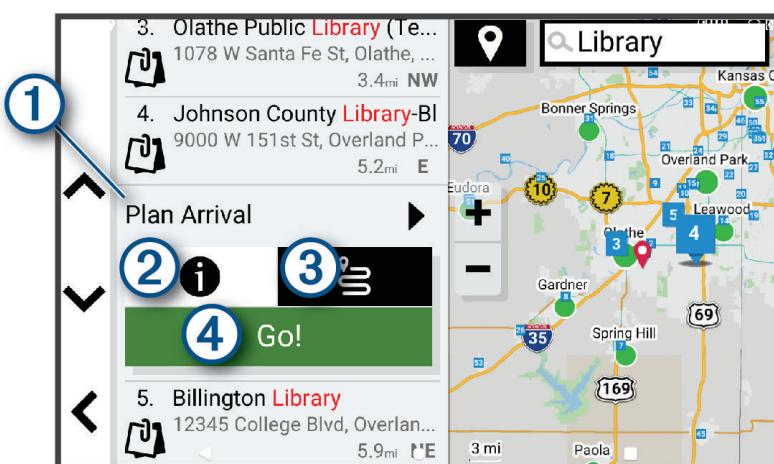
- ・画面右側のクイックサーチリストから、目的地を選択します。

クイックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。

- ・必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



① 到着計画 選択して、到着計画ツールを使用します。

② 選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。

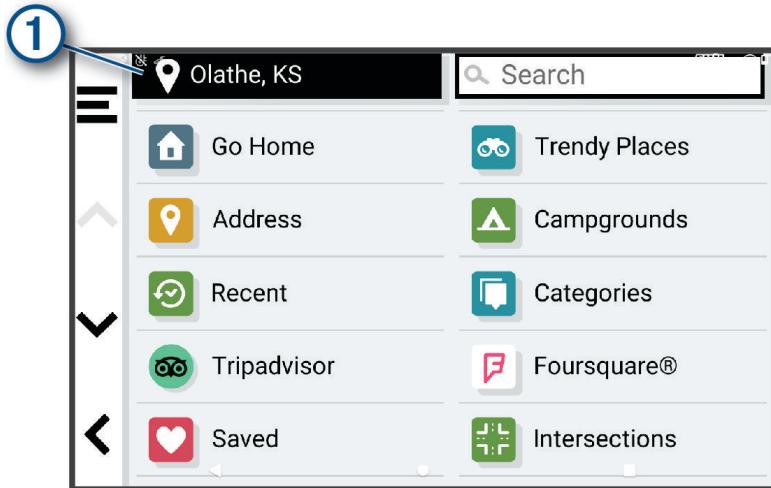
③ 選択すると、機能(ロードトリップルート機能を使用してルートを開始する、12ページ)を使用してその場所へのルートが作成されます。

④ 出発！ 選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリア①の横にある📍を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが📍の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

カスタム POI (ジャンル別施設)

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 www.garmin.com/poiloader を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります ([POI Loader をインストールする, 21 ページ](#))。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [その他のカテゴリー] セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じて  を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 座標を選択します。
- 4 緯度と経度の座標を入力し、完了を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 座標を場所として保存するには、保存を選択します。
 - ・ その座標までのルートを開始するには、出発！を選択します。

Foursquare

注記

Garmin は、Foursquare によって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

- 目的地検索 > Foursquare の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2  を選択します。

Tripadvisor

注記

Garmin は Tripadvisor 情報の正確性または適時性について責任を負いません。

ユーザーはジャンル別施設 (POI) に関連した、適用されるルールや法令、規則を理解して順守する責任があります。

お使いのデバイスには、Tripadvisor トラベラー評価が含まれています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当する施設リスト（レストラン、ホテル、アトラクション）の検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > Tripadvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 4 表示された関心スポットを距離または人気度でフィルタリングするには、結果を並べ替えるを選択します（オプション）。
- 5  を選択し、検索項目を入力します（オプション）。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、道の駅/ドライブイン、またはガソリンスタンドを選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発！を選択します。

・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

1 地図で、車両を選択します。

2  > 現在地までの道順の順に選択します。

3 始点を選択します。

4 選択を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。

2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

1 目的地検索 >  > ショートカットの削除の順に選択します。

2 削除するショートカットを選択します。

3 確認のため再度ショートカットを選択します。

4 完了を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 19 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 > 保存の順に選択します。
- 4 必要に応じて、名前を入力し、完了を選択します。
- 5 保存を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 > 編集の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 名前を選択します。
 - ・ 電話番号を選択します。
 - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
 - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが [保存した位置] メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 を選択します。
- 4 > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 > 削除を選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除 > はいを選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと ([地図上のルート, 13 ページ](#)) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 地形や BirdsEye イメージなどの地図レイヤーを追加または削除するには、◆を選択します。
 - ズームインまたはズームアウトするには、+または-を選択します。
 - ノースアップ表示、2D 表示、3D 表示を切り替えるには、▲を選択します。
 - ルートプランナーを開くには、☰を選択します ([ルートプランナー, 11 ページ](#))。
 - ルートを開始するには、地図上の場所を選択し、出発! を選択します ([地図を使用してナビゲーションを開始する, 12 ページ](#))。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する, 15 ページ](#))。

音声をミュートにする: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路に沿って今後の都市やサービスを表示します ([次の都市まで, 26 ページ](#))。

コースポイント: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先, 26 ページ](#))。

高度: 今後の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する, 29 ページ](#))。この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する, 28 ページ](#))。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する, 14 ページ](#))。

スマートフォン: 接続されているスマートフォンの最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する, 32 ページ](#))。

天気: エリアの天気状況を表示します。

ミュージック: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

スマート通知: 接続しているスマートフォンからの最近のスマート通知を表示します ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 30 ページ](#))。

到着計画: 目的地の地図を表示して、トラックの目的地を見つけることができます。

Pilot Flying J: ルートに沿って今後の Pilot Flying J Travel Centers™ を表示します。

注: この機能は北米でのみ利用可能です。

概要地図: 地図上にルートの概要を表示します。

地図ツールを表示する

- 1 地図で ■ を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、X を選択します。

この先

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。カテゴリーをコースポイントツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から > コースポイントを選択します。

走行中、地図ツールは道路またはルートに沿って次の場所を表示します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図で、 > コースポイントを選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
- カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

到着を計画する

ルートを開始する前に、人気のトラック目的地（積降場やトラック駐車場など）に到着するように、ルートの終点を計画できます。独自の目的地を地図に追加することもできます。

1 目的地検索を選択し、場所を検索します（位置の検索と保存を行う、18 ページ）。

2 位置を選択します。

3 到着計画を選択します。

目的地のプレビューが地図に表示されます。人気のトラックの目的地が地図の横に表示されます。RV / Camper デバイスが Garmin Drive アプリとペアリングされている場合は、BirdsEye 衛星イメージが自動的にダウンロードされます。

4 目的地を選択し、出発！を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

1 地図で、 > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。

3 場所を選んで、出発！を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

警告およびアラート記号

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

制約に関する警告

	車高
	重量
	長さ
	幅
	トレーラーの高さ
	トレーラーの重量
	トレーラーの長さ
	トレーラーの幅
	ボートトレーラー禁止
	キャンパー禁止
	トレーラー禁止
	プロパン禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	モーターホームについては検証されていない道路

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、≡ > 出張データを選択します。

地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する

トリップデータ地図ツールを使うと、地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示できます。

1 地図から、≡ > 出張データを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。



- ・ トリップデータツールでデータフィールドを選択し ①、フィールドに表示する情報を選択します。
- ・ カスタマイズ可能な地図データフィールドを選択し ②、フィールドに表示する情報を選択します。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、を選択します。
- 2 トリップ情報のデータ項目を選択します。
- 3  > フィールドのリセットを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択**を選択します。
 - ・ **全データのリセット**を選択して、トリップ A と合計データをリセットします。
 - ・ 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット**を選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット**を選択します。

進行方向の交通事故を表示する

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([**トラフィック**], 33 ページ) を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック** の順に選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > **ナビゲーション** > **トラフィック** を選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例** を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > **ナビゲーション** > **トラフィック** を選択します。
- 2  > **事故** の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 **設定** > **地図の表示** > **地図レイヤー** の順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注 :  はカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図の表示 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ トランクアップを選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 保存を選択します。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報(ライブトラフィックデータや天気情報など)を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します ([トラフィック] , 33 ページ)。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します ([天気予報を表示する](#), 37 ページ)。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

RV / Camper デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 30 ページ)。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 RV / Camper デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

デバイスをペアリングした後のヒント

- ・ 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2 つのデバイスは自動的に接続されます。
- ・ 電源をオンにすると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。
- ・ また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。
- ・ 使用する Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します ([Bluetooth 機能を有効または無効にする](#), 32 ページ)。

Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する

Garmin Drive アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に RV / Camper デバイスに送信できます。

1 Garmin Drive アプリから目的地検索を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。

入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。

3 検索結果の候補から選択します。

アプリで、地図上に場所が表示されます。

4 ナビゲーションを開始するには、出発！を選択します。

RV / Camper デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、RV / Camper デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

通知を受信する

△ 警告

運転中は通知を読んだり、操作したりしないでください。注意が散漫となり、事故が発生して重傷または死亡につながるおそれがあります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリ ([スマートフォンとペアリングする](#), 30 ページ)が実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、確認を選択します。
- 通知を聞くには、確認 > 再生の順に選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、確認を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

ハンズフリー通話

注：ほとんどのスマートフォンとヘッドセットはサポートされていて使用できますが、特定のスマートフォンまたはヘッドセットの互換性は保証されていません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを互換性のあるスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、www.garmin.com/bluetooth にアクセスしてください。

電話をかける

- 1  > ツール > スマートフォンの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 番号をダイヤルするには、 を選択し、電話番号を入力して、 を選択します。
 - ・ 最近ダイヤルした番号、不在着信した番号、最近ダイヤルした通話、着信した通話を表示するには、 を選択し、ログを選択して、ダイヤルする番号を選択します。
 - ・ 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、 を選択し、連絡先を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出た時に利用できます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合、任意の画面から を選択して再度開くことができます。

- ・ 会議通話を設定するには、**通話の追加**を選択します。
- ・ オーディオを電話に転送するには、**ナビゲーターで通話中です**を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ・ ダイヤルパッドを使用するには、**キーパッド**を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

- ・ マイクをミュートするには、**ミュート**を選択します。
- ・ 電話を切るには**通話終了**を選択します。

電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

- 1  > ツール > スマートフォンの順に選択します。
- 2 必要に応じて、 を選択します。
- 3 プリセット 1 などのプリセット番号を選択します。
- 4 OK を選択してから、連絡先を選択します。

Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングしたスマートフォンの通話、メディアオーディオ、ライブサービスなどの Bluetooth 機能を有効または無効にできます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > **Bluetooth** の順に選択します。
- 2 電話名を選択します。
- 3 有効または無効にする機能を選択します。

アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)

Garmin Drive アプリを使用して、RV / Camper デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > **スマート通知**の順に選択します。
スマートフォンアプリのカテゴリーのリストが表示されます。
- 3 カテゴリーを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

Apple® デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリーを表示または非表示にして、RV / Camper デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 > ツール > スマート通知 > の順に選択します。
- 2 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も RV / Camper デバイスに自動的に接続できます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 OK を選択します。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に RV / Camper デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が RV / Camper デバイスから削除されます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイス名の横にある > 破棄を選択します。

[トライフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようデバイスを設定できます ([トライフィック設定, 42 ページ](#))。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトライフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してトライフィックデータを受信できます (サブスクリプション無料) ([スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する, 33 ページ](#))。
- トライフィックデータを利用できない地域もあります。トライフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトライフィックデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトライフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリ ([スマートフォンとペアリングする, 30 ページ](#)) に接続します。
- 2 RV / Camper デバイスで、設定 > トライフィック > トライフィックの順に選択し、Garmin ライブトライフィックオプションが選択されていることを確認します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > ナビゲーション > トライフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > ナビゲーション > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

デバイスに話しかける際のヒント

- ・ デバイスで指定されるはっきりした音声で発音します。
- ・ OK, Garmin で各リクエストを開始します。
- ・ 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- ・ デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- ・ OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive?と話しかけます。

音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、OK, Garmin, call Mom.と言います。

音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- ・ OK, Garmin, increase the volume.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 0.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 9.

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1  > ツール > 操作マニュアルの順に選択します。
マニュアルは、ソフトウェアテキスト ([テキスト言語を設定する, 43 ページ](#))と同じ言語で表示されます。
- 2  を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

ルートプランナー

ルートプランナーを使用すると、ルートを作成して保存し、後でナビゲートできます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したルートを編集すると、場所の並べ替え、おすすめアトラクションの追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

ルートプランナーを使用すると、アクティブルートを編集して保存することもできます。

ルートを計画する

ルートには多くの場所を含めることができますが、少なくとも出発地と目的地を含める必要があります。出発地とは、ルートを開始する予定の場所です。別の場所からルートのナビゲーションを開始すると、デバイスには最初に出発地にルートを設定するオプションが表示されます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 ルートプランナー > ルートを作成の順に選択します。
- 2 必要に応じて、計算モードを選択します。
注：デフォルトでは、ターンバイターンモードが選択されています。
- 3 出発点の場所を選択するオプションを選択します。
 - ・ 地図上で位置を選択します。
 - ・  を選択し、場所を検索します ([検索バーを使用して位置を検索する, 19 ページ](#))。
- 4 さらに場所を追加する場合は、手順 3 を繰り返します。
注：最後に追加する場所が目的地になります。
- 5 必要な場所をすべて追加したら、 を選択します。

ルートの場所を編集および並べ替える

- 1 ルートプランナーを選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 リストを選択します。
- 4 位置を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を変更するには、 を選択し、新しい場所を入力します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をルートの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

ルートのルートオプションを変更する

デバイスでルートが計算される方法をカスタマイズできます。

- 1  > ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ルートにシェイピングポイントを追加するには、**形成する**を選択し、1 カ所以上の場所を選択します。
 - ・ ルートの計算モードを変更するには、ルートセグメントにタッチして計算モードを選択します。

保存したルートまでナビゲーションする

- 1 ■> ルートプランナーの順に選択します。
- 2 保存したルートを選択します。
- 3 出発!を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、OKを選択します。
- 5 開始を選択します。

デバイスは現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのルート目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合は、ルートプランナーを使用し、ルートを編集して保存できます。

- 1 ■> ルートプランナー>マイアティブルートの順に選択します。
- 2 いずれかのルートプランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 保存を選択すると、ルートが保存され、後で再びナビゲーションできます(オプション)。

ロイヤルティプログラム

RV / Camper デバイスから、Pilot Flying J Travel Centers を含む米国の旅行代理店の一部から、ロイヤルティープログラムにアクセスできます。RV / Camper デバイスのロイヤルティープログラムアプリを使用して、報酬ポイントの残高やその他のロイヤルティープログラム情報を確認できます。ロイヤルティープログラムの機能を有効にするには、Garmin Drive アプリでロイヤルティープログラムアカウントにサインインします。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます(「サービスカテゴリーを追加する、36 ページ」)。

- 1 ■> ツール>サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します(省略可)。
- 6 完了を選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1 ■> ツール>サービス履歴の順に選択します。
- 2 ■> カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、完了を選択します。

サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1 ■> ツール>サービス履歴の順に選択します。
- 2 ■> カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1  > ツール > サービス履歴 の順に選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3  > カテゴリーの名前変更 の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1  > ツール > サービス履歴 の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

サービスの記録を削除する

- 1  > ツール > サービス履歴 の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3  > レコードの削除 の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

天気予報を表示する

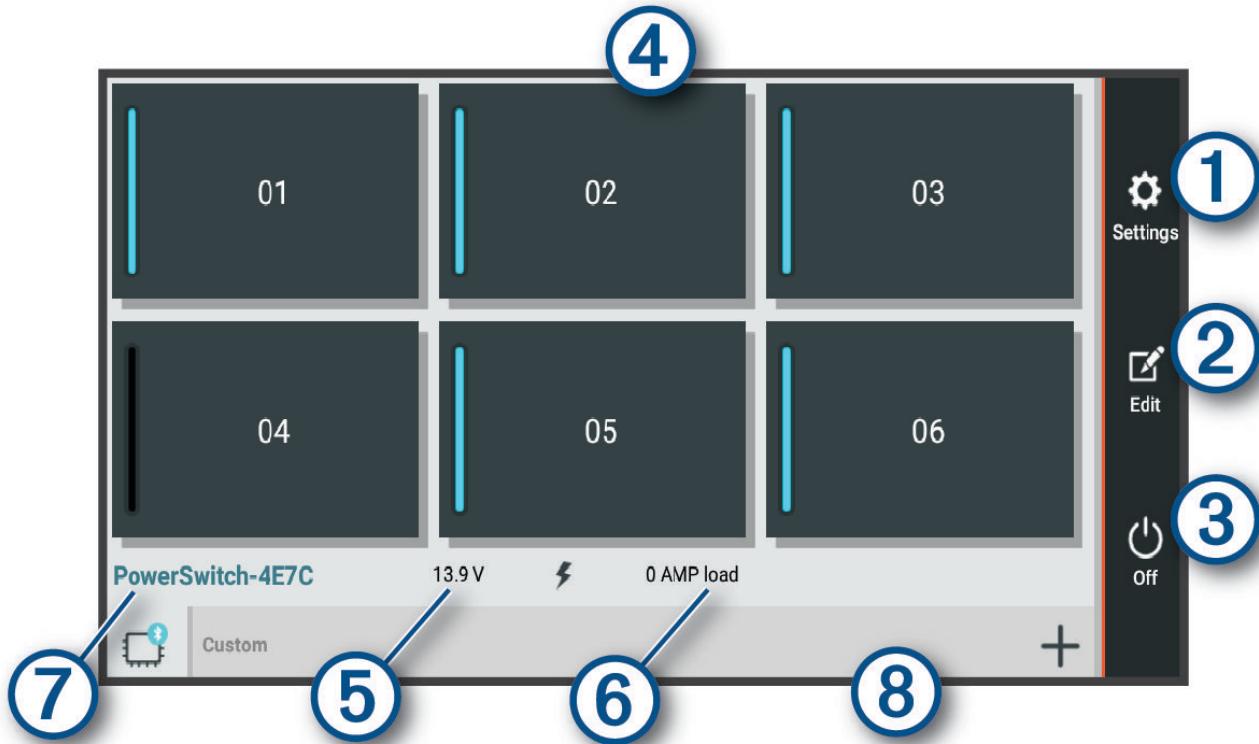
この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気予報データを受信できます ([スマートフォンとペアリングする](#), 30 ページ)。

- 1 メイン画面で、天気予報のウィジェットを選択します ([メイン画面](#), 7 ページ)。
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 メイン画面で、天気予報のウィジェットを選択します ([メイン画面](#), 7 ページ)。
- 2 現在地を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
 - ・ お気に入りの都市を追加するには、[都市の追加](#)を選択し、都市名を入力します。

Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④	電源ボタン 接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

すべてのスイッチをオフにする

③を選択します。

ボタンのカスタマイズ

- 1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 2 カスタマイズするボタンで、を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ボタンの名前を変更するには、**Button Label** フィールドを選択し、名前を入力します。
 - ・ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
 - ・ボタンの色を変更するには、色を選択します。
 - ・ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
 - ・スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
 - ・制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。
- 4 <を選択します。
- 5 OKを選択します。

スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイスに接続する必要があります (制御入力の接続, 52 ページ)。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

- 1 を選択します。
- 2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。
- 3 制御入力を選択します。
- 4 1 つ以上のスイッチを選択します。

カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

- 1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。
デバイスが編集モードになります。
- 2 を選択します。

カスタムレイアウトヘボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **Add Button** を選択します。
- 4 新しいボタンで、 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンの名前を変更するには、**Button Label** フィールドを選択し、名前を入力します。
 - ・ ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
 - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **Add Action** を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
 - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**Toggle** を選択します。
 - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
 - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
 - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
 - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**瞬時**を選択します。
 - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**Strobe** を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11  を選択します。
- 12 必要に応じて、**Add Action** を選択して、ボタンのアクションを追加します。
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンで を押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2  を選択します。
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンのを選択します。
 - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブのを選択します。

設定

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

走行履歴の消去: デバイスからすべての走行履歴を消去できます。

地図および車両設定

設定 > 地図の表示の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

音声言語: ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする](#), 29 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

Skip Next Stop Confirmation: ルート上の場所をスキップするときに表示される確認メッセージを設定します。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、garmin.com/maps にアクセスしてください。

1 設定 > 地図の表示 > マイマップの順に選択します。

2 地図を選択します。

ワイヤレスネットワークに接続する

1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Wi-Fi の順に選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

Bluetooth 無線技術を有効にする

設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

オーディブルドライバーアラート: 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます (ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 10 ページ)。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

休憩プラン: 長時間運転の際に、休憩をとるよう通知し、この先のサービスエリアを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィック機能を有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

サブスクリプション: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします (ルート上の交通遅延を回避する, 16 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

ディスプレイ設定

設定 > デバイス > ディスプレイの順に選択します。

輝度レベル: デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

ダークテーマ: ダークカラーのテーマを有効または無効にします。

壁紙: デバイスの壁紙背景を設定します。

画面タイムアウト: バッテリー電源の使用時にデバイスがディスプレイをオフにするまでのアイドル時間を設定できます。

フォントサイズ: デバイスのフォントサイズを増減します。

画面の自動回転: デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

サウンドと通知の設定

設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。

音量スライダ: ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

サイレントモード: 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

デフォルトの着信音: デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

その他のサウンド: 画面のタッチ、画面のロック、充電など、その他のデバイス操作音を有効または無効にすることができます。

デバイスがロックされている場合: デバイスがロックされているときに、通知を画面に表示するかどうかを設定します。

アプリ通知: インストールされている各アプリの通知を有効または無効にし、各アプリのサイレントモード設定を変更できます。

通知アクセス: システムおよびアプリ通知を読み取るためにアクセスできるアプリを選択できます。

サイレントモードへのアクセス: サイレントモード設定をオーバーライドまたは変更できるアプリを選択できます。

サウンドと通知の音量を調整する

- 1 設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

アラームを設定する

- 1 > ツール > 時計 > ① > + を選択します。
- 2 時刻を設定します。
- 3 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、アラームを有効にします。

位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。GPS 信号が利用できない場合は、位置情報サービスを無効にして、ルートを計画できます。位置情報サービスが無効なときは、GPS シミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

ヒント：位置情報サービスを無効にすると、バッテリー電力を節約できます。

- 1 設定 > 個人 > 位置の順に選択します。
- 2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

- 1 設定 > 個人 > 言語と入力 > 言語の順に選択します。
- 2 言語を選択します。

日付と時刻の設定

設定 > システム > 日付と時刻の順に選択します。

ネットワーク時間を使用: 接続されたネットワークからの情報に基づいてタイムゾーンを自動的に設定します。

ネットワークタイムゾーンを使用: ネットワーク時間を使用が無効になっている場合は、デバイスのタイムゾーンを設定します。

24 時間表示を使用: 24 時間形式を有効または無効にします。

デバイス設定

設定 > デバイスについての順に選択します。

法規制情報: エンドユーザー使用許諾契約 (EULA) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

法規: E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

Garmin デバイス情報: ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

設定を初期化する

設定のカテゴリーを工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 設定のカテゴリーを選択します。
- 3 : > リセットを選択します。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイスについて > 法規を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20°C ~ 55°C (-4°F ~ 131°F)
充電温度範囲	0°C ~ 45°C (-32°F ~ 113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給（家庭やオフィスでの使用時限定）
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン
EU SAR (RV 895 Camper 895)	胴体 : 0.45 W/kg、四肢 : 0.67 W/kg
無線周波数 (RV 895 Camper 895)	2.4 GHz @ 15.1 dBm 最大 5.1 GHz @ 17.3 dBm 最大 5.7 GHz @ 13.9 dBm 最大
EU SAR (RV 1095 Camper 1095)	胴体 : 0.38 W/kg、四肢 : 0.23 W/kg
無線周波数 (RV 1095 Camper 1095)	2.4 GHz @ 13.8 dBm 最大 5.1 GHz @ 18.6 dBm 最大 5.7 GHz @ 13.4 dBm 最大

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。

家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

1 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。

注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、garmin.com の製品ページにアクセスしてください。

2 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します（[ワイヤレスネットワークに接続する](#)、41 ページ）。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です。**を選択します。
- 更新を手動で確認するには、**設定 > 更新**の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**

4 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**地図**を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

5 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

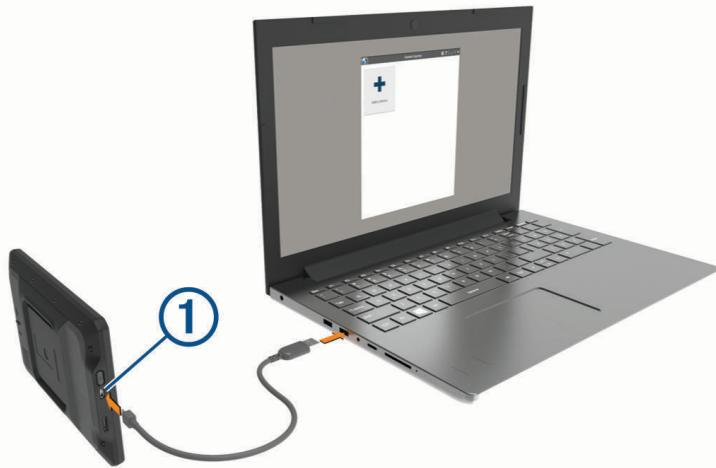
6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 47 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
ケーブルの小さい方の端は RV / Camper デバイスの USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。



6 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります。

7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウンロード (Windows) を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウンロード (Mac) を選択します。

3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します (garmin.com/express)。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 7 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着力アップを取り外す

吸盤からマウントを取り外す

- 1 必要に応じて、マウントを吸盤ボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸盤のボールが外れるまで力をかけます。

フロントガラスから吸着力アップを取り外す

- 1 吸着力アップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着力アップのつまみを自分の方に引きます。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます ([車両へのデバイスの取り付けと電源の供給](#), 2 ページ)。

運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- ・ 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ・ ハンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ 位置情報サービスが有効になっていることを確認します ([位置情報サービスを有効または無効にする](#), 43 ページ)。
- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- ・ 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- ・ 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- ・ 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- ・画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 42 ページ)。
- ・ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 42 ページ)。
- ・音量を下げます (サウンドと通知の音量を調整する, 43 ページ)。
- ・使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします (ワイヤレスネットワークに接続する, 41 ページ)。
- ・使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 6 ページ)。
- ・デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- ・デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- ・設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- ・スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持てきます。
- ・お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ・ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、電話とデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する, 33 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります (スマートフォンとペアリングする, 30 ページ)。

付録

Garmin PowerSwitch

△ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持つた、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、RV / Camper デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

取り付けに関する注意事項

- ・デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- ・取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- ・取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 選択した場所にマウントを配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、2箇所のネジ位置①に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

- 1 前面カバーラッチ①を持ち上げ、反時計回りに回します。



- 2 前面カバーをデバイスから引き出します。



アクセサリーの接続

注記

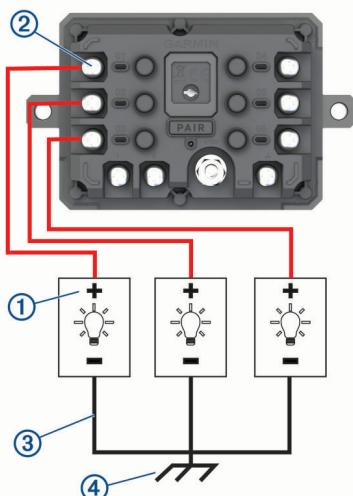
ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

電源をアクセサリー出力端子に接続しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
- 20 ~ 30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG (6 mm²) の配線を使用します。
- 10 ~ 20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG (4 mm²) の配線を使用します。
- 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG (2.5 mm²) の配線を使用します。
- すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
- すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。

- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

△ 注意

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子 (GND) に接続しないでください。接続すると、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

- 3 すべての電気接続がしっかりと締め付けられていることを確認し、使用中に緩まないようにしてください。

制御入力の接続

制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V ~ 18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

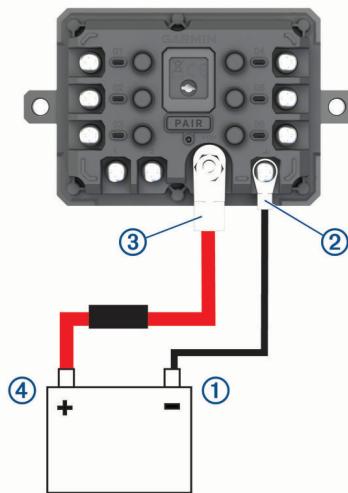
車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V端子から警告タグを取り外す必要があります。

すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

- 1 同梱されているアース線①の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスのGND端子②に接続します。

- 3 付属の12Vケーブルの小さいリング側をデバイスの+12V端子③に接続します。

- 4 +12V端子の $\frac{3}{8}$ in.ナットを最大トルク仕様4.52 N·m(40 lbf-in.)で締め付けます。

ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

注記

端子の損傷を防ぐため、+12V端子を締めすぎないでください。

- 5 12Vケーブル④の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから1m(3.3 ft.)以内に配置します。
 - 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
 - 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。
- メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 (奥行き × 幅 × 高さ)	75 × 125 × 32 mm (2.95 × 4.92 × 1.26 in.)
動作温度範囲	-25° ~ 85°C (-13° ~ 185°F)
無線周波数	2.4 GHz @ 14 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12~16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹

トラブルシューティング

自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません](#), 54 ページ)。

アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

ワイヤレスカメラ

接続された 1 台以上のワイヤレスカメラ (別売) からのビデオフィードを表示できます。

¹ このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

BC™ 50 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスの Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 50 ワイヤレスバックアップカメラは、Android を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、garmin.com/bc50 を参照してください。

最大 4 台の BC 50 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 50 カメラをサポートしない場合があります。ソフトウェアの更新について詳しくは、ナビゲーションデバイス操作マニュアルを参照してください。

- 2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

- 3 車両をリバースに入れて、カメラの電源をオンにします。

- 4  > ツール > リアビュー >  > Garmin BC50 の順に選択します。

- 5 使用可能なカメラのリストから、BC 50 カメラを選択します。

- 6 画面上の矢印を使用してガイダンスラインを配置します。

カメラまたは車両が、ガイドラインのアライメントを完了するのに理想的な位置にない場合は、後でアライメントを完了することができます。

- 7 保存を選択します。

カメラとナビゲーションデバイスの初回ペアリングが完了すると、それ以降は自動的に接続されます（カメラとナビゲーションデバイスの電源がオンで接続可能な範囲内の場合）。

有線のバックアップカメラを接続する

有線のバックアップカメラを接続するには、オプションのビデオマウントアクセサリを使用する必要があります。これには、3.5 mm のコンポジットビデオ入力ジャックが含まれています。アクセサリマウントを購入するには、garmin.com にアクセスしてください。ビデオマウントアクセサリは、一部のデバイスマルチに付属しています。

有線のバックアップカメラを接続し、デバイスの画面に出力を表示することができます。

- 1 元のデバイスマウントをビデオマウントアクセサリと交換します。

- 2 カメラのビデオケーブルをマウントのビデオ入力ジャック ① に接続します。



バックアップカメラを表示する

△警告

このデバイスは、適切に使用された場合に状況認識を高めることを目的としています。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイに意識を向けると、障害物や危険物を見落とすおそれがあります。

カメラを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングすると、ナビゲーションデバイスをオンにしたときにカメラビューが自動的に表示されます。また、いつでも手動でカメラを表示することもできます。

- ・ ナビゲーションデバイスがイグニッション運動電源に接続されている場合は（推奨）、車両の電源を入れます。
- ・ ナビゲーションデバイスが常時オン電源に接続されている場合は、ナビゲーションデバイスの電源を入れます。
- ・ カメラを手動で表示するには、 を選択します。
- ・ 音声コマンドを使用してカメラを表示または非表示にするには、**ビデオを表示**または**ビデオを表示しない**と発声します。

注：音声コマンドは、一部のナビゲーションデバイスでは使用できません。音声コマンドは、ご利用のナビゲーションデバイスによって異なる場合があります。この機能は、一部の言語では使用できません。また、一部の言語では、追加のナビゲーションデバイスの設定が必要になる場合があります。詳細については、ナビゲーションデバイスの音声コマンドアプリまたはボイスコマンドアプリ、またはナビゲーションデバイスの操作マニュアルを参照してください。

カメラビューが表示されます。車両が前進していることをカメラが検知すると、カメラは自動的にビデオの送信を停止し、ナビゲーションデバイスは通常の動作に戻ります。車両が前進したかどうかにかかわらず、2分30秒後にカメラ映像は自動的に消去されます。

カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

- 1  > ツール > リアビューの順に選択します。
- 2 画面下部からカメラを選択します。
カメラからのビデオフィードが表示されます。

カメラの向きの変更

カメラの車両上の設置場所によっては、映像がデフォルトで上下逆、または左右が逆になる場合があります。映像を水平方向に回転したり、垂直方向に反転して修正できます。

- 1 カメラビューから、次のオプションを選択します。
 - ・  > ビデオを調整するの順に選択します。
 - ・ 画面をタップし、 を選択します。
- 2 画像を反転するには、 を選択するか、 を選択して画像を反転します。
- 3  を選択します。

電動マウントへのダッシュカムの接続

⚠️ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また道路の視界を妨げないようにして車両の安全な操作を保証する責任はお客様にあります。

ダッシュカムを電動マウントに接続する前に、ダッシュカムデバイスをフロントガラスに取り付ける必要があります。

RV / Camper デバイスマウントを使用して、互換性のある Garmin ダッシュカムに電力を供給できます。車両の同じ電源に RV / Camper デバイスとダッシュカムを接続する必要がある場合に便利です。

- 1 RV / Camper デバイスを車両に取り付けて電源に接続します（[車両へのデバイスの取り付けと電源の供給](#), 2 ページ）。
- 2 必要に応じて、マグネット式マウントから RV / Camper デバイスを取り外し、USB ポートを見やすくします。
- 3 ダッシュカムの電源ケーブルをマウントの USB ポート ① に接続します。



データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.7 以降に対応しています。Apple コンピュータは、ファイルを読み書きするのに追加のサードパーティソフトウェアを必要とする場合があります。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図や POI などのファイルを保存できます。

メモリーカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1 設定 > デバイス > ストレージと USB の順に選択します。
- 2 メモリーカードを選択します。
- 3 :> ストレージ設定 > フォーマット > SD カードのフォーマットの順に選択します。
- 4 完了を選択します。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 58 ページ](#))。コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

コンピュータから GPX ファイルを転送する

Apple コンピュータでは、このデバイスでファイルを読み書きするために、Android File Transfer などの追加のサードパーティソフトウェアが必要になる場合があります。

デバイスで使用するルートをすでに作成している場合は、GPX ファイルをコンピュータから直接転送できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 58 ページ](#))。デバイスはポータブルデバイスとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 GPX ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上の GPX フォルダを参照します。
- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

Garmin Drive アプリで GPX ファイルをエクスポートする

Garmin Drive アプリを使用して、ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式で共有できます。

- 1 RV / Camper デバイスで、[オプション] を選択します。
 - ・ ウェイポイントを共有するには、目的地検索 > 保存済み >  > 共有 > Garmin Drive の順に選択します。
 - ・ ルートを共有するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップ >  > 共有 > Garmin Drive の順に選択します。
- 2 1つ以上のウェイポイントまたはルートを選択します。
- 3 完了を選択します。
- 4 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 5 画面の指示に従い、.gpx ファイルを共有します。

Garmin Drive アプリを使用した GPX ファイルのインポート

Garmin Drive アプリを使用して、ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式でインポートできます。たとえば、E メールで受信したウェイポイントまたはルートを RV / Camper デバイスに送信できます。

- 1 スマートフォンで.gpx ファイルを選択し、Garmin Drive アプリで開きます。
- 2 Garmin Drive アプリの画面の指示に従います。
- 3 RV / Camper デバイスで、[オプション] を選択します。
 - ・ インポートされたウェイポイントを表示するには、目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
 - ・ インポートされたルートを表示するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。

メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート

ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式で互換性のある microSD カードに共有できます。

- 1 互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します。
- 2 RV / Camper デバイスで、[オプション] を選択します。
 - ・ ウェイポイントを共有するには、目的地検索 > 保存済み >  > 共有 > メモリカードの順に選択します。
 - ・ ルートを共有するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップ >  > 共有 > メモリカードの順に選択します。
- 3 1 つ以上のウェイポイントまたはルートを選択します。
- 4 完了を選択します。

メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート

ウェイポイントやルートなどのデータを互換性のある microSD カードから GPX ファイル形式でインポートできます。

- 1 1 つ以上の gpx ファイルを含む互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します。
RV / Camper デバイスは、microSD カード上で見つかった.gpx ファイルを自動的にインポートします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ インポートされたウェイポイントを表示するには、目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
 - ・ インポートされたルートを表示するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。

追加の地図を購入する

- 1 [garmin.com](#) のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 地図タブをクリックします。
- 3 画面に表示される手順に従います。

アクセサリーを購入する

- ・ オプションのアクセサリーは、[garmin.com](#) または Garmin 販売店から入手できます。

support.garmin.com